



公立山城病院新聞

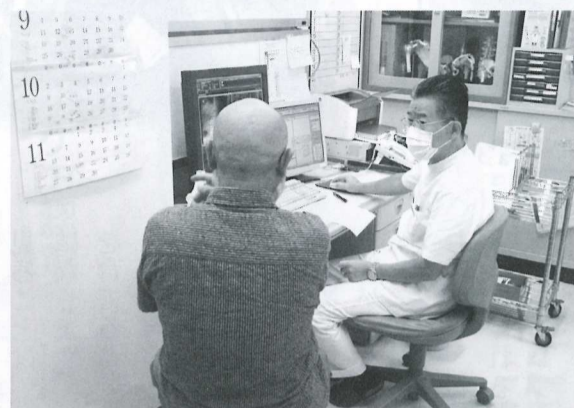
YAMASHIRO PUBLIC HOSPITAL

発行元 公立山城病院
発行元責任者 中埜 幸治

整形外科常勤医を迎え整形外科全日外来診療開始

平成23年10月1日より、待望の整形外科常勤医1名（吉田宗彦医師）を京都府立医科大学より当院に迎えることができました。それにより、10月より非常勤医3名とともに月曜日から金曜日まで毎日外来診療を行います。

しかし、現状は1名の常勤医師ですので、先々まで当院でご活躍いただけるよう、職員一同サポートしていきたくと考えております。地域の皆様のご協力ご支援をよろしくお願いいたします。



●神経内科医師紹介●



神経内科部長 岩本 一秀

皆様、はじめまして。向井麻央と申します。このたび、神経内科の岩本一秀部長の下で神経内科医員として公立山城病院に勤務させていただきますことになりました。

「向井麻央」と書いて、「むかいまお」と読みます。「まお」と名前だけを聞かれますと、大抵「おんなのこ」と思われますが、「おとこのこ」です。性別を間違えられるのは日常茶飯事で、先日もレンタルビデオ店で会員証の更新のときに免許証を提出したら顔写真だけを見て「ご本人様のものをお願いします」と突っ返されました。

余談はさておき、これから少しでも皆様のお役に立てるように頑張つてまいりますので、皆様どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

平成23年7月1日より神経内科医師として勤務しております岩本一秀と申します。よろしくお願ひいたします。

昭和59年3月に鳥取大学医学部を卒業後、京都府立医科大学付属病院にて研修しました。当院が新築される前の大学勤務時代、神経内科の診療を非常勤医師として担当させていただきましたことがありました。病院や周辺の様子はその当時から大きな変貌をとげましたが、患者さんやスタッフに見覚えのある方もおられ、心強く感じております。

当院の建物や電子カルテシステムにまだ十分慣れておらず、ご迷惑をおかけすることもあります。力の限り働きますので、よろしくお願ひいたします。



神経内科医員 向井 麻央

患者満足度調査

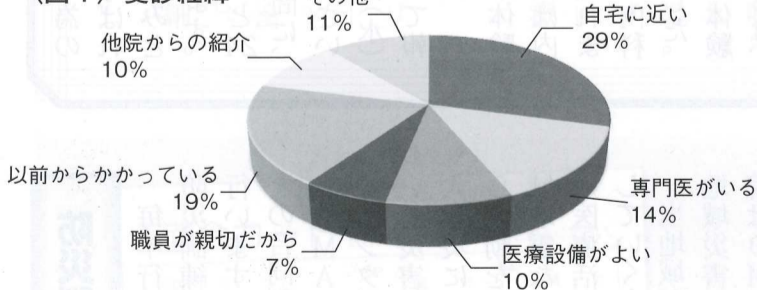
平成23年7月26日～7月28日 アンケート調査を実施いたしました。ご協力ありがとうございました。詳細な結果につきましては、院内掲示版に掲載しております。

アンケート結果から、当院を受診された方々は、自宅に近い、以前からかかっているという方が多くおられる中、専門医がいる、医療設備が良い、また他院からの紹介で受診されている方が多くおられました。参考(図1)

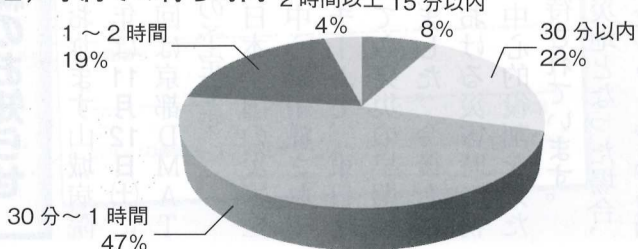
診察までの待ち時間は予約時間より30分以上遅くなったという回答が約7割を占め、時間どおりにお呼び出されていない事がわかりました。理由として予約患者数、診察内容、緊急症例等により診察が中断した事なども考えられますが、全体の流れも含め現状を見直し、改善に努めてまいります。参考(図2)

職員の接遇についても、「良い」というご意見を多くいただいた反面、「不愉快な経験をした」とのご意見もいただきました。アンケート結果を院内で共有し、皆さまに笑顔で気持ちよく受診していただき、地域の中核病院としての役割を果たせるよう、さらなる改善・向上に努めてまいります。

(図1) 受診経緯



(図2) 予約での待ち時間



医学生の臨床実習への ご協力ありがとうございました。

当院では平成21年度から、京都府立医科大学の学生の実習を受け入れています。クリニカルクラークシップ（診療参加型臨床実習）という名称の制度で、医学部最終学年の6回生が、医師になる前に実際の医療現場を体験し、知識と経験を深めることを目的としたものです。

今年度は、5月9日から7月1日までの期間に、昨年と同様、消化器科、循環器科、産婦人科、小児科、救急医療、放射線科で実習生を受け入れました。当院での各々の学生の実習期間は2週間から4週間で、残りの期間は当院以外の京都府内の病院で同様の実習を経験することになっていきます。今年度、当院を希望してくれた学生の数は22名と過去最高になりました。当院の診療内容、昨年までの当院での実習の成果が評価されたものと思っています。



大学の6

回生は、全科目の授業をすべて終了し、医学的な知識は持っています。ですが、なにごん経験不足です。この期間、学生たちは多数の患者様を担当させていただきましたが、ご迷惑をおかけした点もあるかと思えます。



快くご協力

いただき本当にありがとうございました。実習する学生にとって、卒業前に実際の医療現場を見ることは、いろいろな意味で非常に良い経験になります。一方、当院としては、将来の人材を育てるといふ大切な仕事に関与できることは、とても有意義なことだと考えており、来年度以降もひきつづき学生を受け入れる予定です。

昨年当院で実習した学生の中には、当院で研修医として働く事を希望する者が何名かいましたが、今年も同様に、当院での研修を希望する学生がいるようです。また、当院で研修医生活を過ごした後に、常勤医として働いている医師もいます。将来、われわれと一緒に地域医療を担ってくれる人材を育てるためにも、来年度以降もひきつづき皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

インターンシップを終えて



当院では、看護学生の為の「インターンシップ」と呼ばれる職場体験の機会を春休みと夏休みの2回設けています。今年度は8月17日(水)と24日(水)・25日(木)の3日間に、計6名の方が参加して下さいました。その内の8月17日(水)の3名参加の様子について報告します。

まず、学生さん自身が体験したい部署を決めて申し込みます。1人は内科病棟、2人はICUと手術室を希望されました。内科病棟では、午前中は、眼科・内科慢性期病棟で患者様の清潔ケアをしました。薬剤の管理や、取扱いについて実習では体験できない事も見て頂きました。午後からは、同じ内科でも循環器・消化器の急性期病棟で、検査時のオリエンテーションの様子を見学して頂きました。ICUと手術室を希望された2名は、午前と午後で部署を交替して体験しました。手術室では、午前中は局所麻酔の手術、午後からは全身麻酔の手術の見学、ICUでは、超急性期の患者さんに対し、看護ケアを見学して頂きました。

参加された学生さんからは、「病院の温かい雰囲気がとても良く伝わってきた。」「先生と看護師の仲の良さが解った。」「教育体制も充実している。」など、嬉しい感想を沢山頂きました。又、帰る前に看護師宿舎の見学もされ、「きれいで設備が充実している。」と、感動されていました。

この様な機会を多く作る事で、この病院を「外から・言葉だけ」ではなく知って頂き、就職先に選んで頂けるよう、今後も努力していきます。

就職活動中の看護学生の方、暫くブランクのある看護師の方、多くの体験企画をご用意しています。是非一度山城病院にお越しください。



防災訓練のお知らせ

毎年行っております山城病院防災訓練を今年11月12日(土)に行います。今回は京都DMATとの合同訓練の予定です。

DMATは日本全国の災害医療センターを中心に組織されている災害医療チームで、東日本大震災においても発災の早期から活動を行いました。今後も広域地震などにおける災害時の初期医療活動の中心的役割を果たしていくと期待されています。

当地域が被災地となった場合、地域災害医療センターである当院はDMATの参集拠点となるため、災害医療のスペシャリストであるDMATと連携し、効率よく傷病者に対応するための訓練が必要となります。

当日は病院の1、2階を中心に訓練を行う予定です。DMATをはじめとする多数の医療者で混雑が予想されます。どうか皆様のご理解とご協力をお願い致します。

災害対策委員長 今津 正史



新たに 2名の 認定看護師誕生



がん化学療法
看護認定看護師

外来 大西 美津子

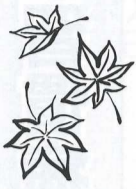


集中ケア認定看護師

ICU 岡上 亜子

私は平成22年6月から半年間、久留米大学認定教育センターでがん化学療法看護認定看護師の資格取得のために修学し、今年5月日本看護協会認定審査に合格しました。

がん化学療法看護認定看護師はがん看護の現場で実践・相談・指導することにより、化学療法薬の安全な取り扱いと適切な投与管理や副作用症状マネージメントを行い、看護ケアの広がりや質の向上に貢献する役割があります。私がとても大切にしていることは、化学療法を受ける患者・家族の気持ちを受けとめて理解し、患者自身がセルフケアできるような考え、より良い日常生活をその人らしく送れるよう支援することです。皆様のご指導をいただき成長していきたいと思っております。よろしくお願いたします。



当院において集中治療室は、重篤な患者さんに対し集中的かつ強力な医療を提供し、急性期病院としての機能を果たす中心的役割を担っています。当集中治療室は、今年で開設10年を迎えました。この10年で医療は高度化・複雑化し、患者さんの重症度も格段に高くなっていきます。そして看護においても、より専門性の高い実践が必要になってきている事を実感し、今年度集中ケア認定看護師の資格を取得させて頂きました。集中ケア認定看護師は、様々な医療機器や薬剤などのサポートを必要とする重篤な患者さんの、刻々と変化する状態を適切に判断・予測し、重症化の回避、早期回復のための看護ケアを実践、または他看護職員に指導する役割があります。重篤な患者さんの身体的・心理的苦痛の大きさは量り知れません。そのような患者さんのそばに寄り添い、少しでも安寧を図れる看護を常に心掛けながら、集中ケア認定看護師としての活動を行っていきたく考えます。

栄養管理室 紹介



産後食・松花堂弁当



毎日の食事は病気回復にとっても重要なものです。栄養管理室では食事を治療の一環と考え、医師の指示に基づいた適正な栄養量の食事を提供すると共に、各病態に応じた栄養食事指導により治療のサポートを行っております。

当院の栄養管理室には管理栄養士3名、給食業務を委託している委託会社職員の管理栄養士2名、栄養士4名、調理師2名、調理補助17名が在籍し、業務を行っております。

△入院中のお食事について▽

入院中の楽しみのお食事、美味しく安全に食べて頂けるように、四季折々の行事食は年間17回実施しており、ご出産された方には「御祝い膳」や「松花堂弁当」を提供しております。また、嘔吐ことや飲み込むことが難しい方には、トロミ剤の使用や、食形態に配慮した食べやすいお食事を提供しております。その他、食物アレルギーのある方やつわり・化学療法などにより食欲低下のある方にはベッドサイドで聞取りを行い、安心して食べて頂けるように、また嗜好に合わせて少しでも美味しく食べて頂けるように一人ひとり食事の調整をしております。

△栄養食事指導について▽

栄養食事指導は入院・外来患者さんとそのご家族を対象に、生活習慣や慢性疾患などで食事療法が必要な患者さんへの食生活の改善指導や退院時指導を行っております。又集団栄養食事指導として、月に1回糖尿病教室やマタニティークラスの栄養教室を開催しております。病状や生活スタイル、嗜好などを配慮し、アドバイスをさせて頂いておりますので、お食事に不安のある方や食事療法に興味のある方は、お気軽にご相談下さい。

△チーム医療の一員として▽

NST（栄養サポートチーム）や心臓リハビリカンファレンス、褥瘡対策チームの一員としてチーム医療に参加し、医師をはじめとする医療スタッフと連携を取り合い、患者様にとって最適な栄養管理が出来るように目指しております。今後、病気回復のお手伝いが出来るように、より一層細やかな栄養管理が出来ればと考えております。

ご協力お願いします

当院では本年5月より、ご面会の方に「面会カード」のご記入をお願いしております。面会に来られた際にナースステーションに備え付けの「面会カード」に、ご面会のお部屋・予定のお時間などをご記入の上回収箱へお入れいただくことにより、病棟内におられる面会の方の動きを把握させていただきます。また、8月より院内各所に防犯カメラを設置いたしました。これにより病院内での不審者の早期発見など、入院中の患者様により安心して療養いただける環境作りに努めております。みなさまのご理解・ご協力をいただきますようお願いいたします。

事務局 管理担当

面会カード ※ご記入いただける範囲でご記入ください

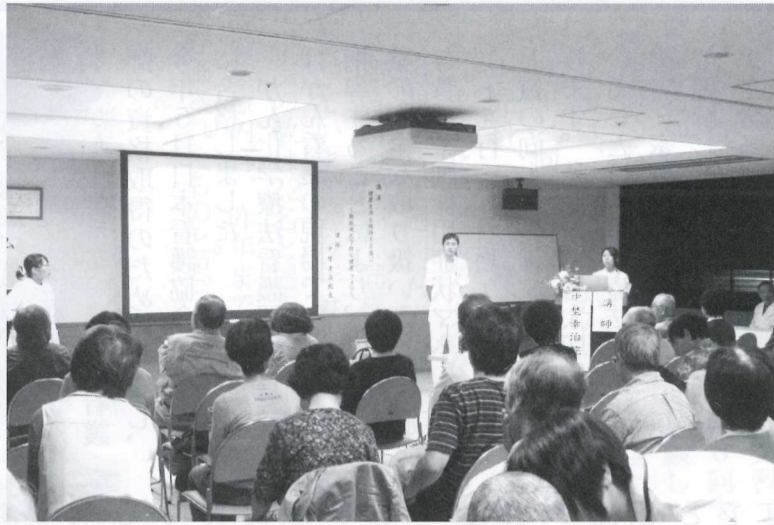
平成 年 月 日 ()	午前 時 分 ~ 午後 時 分
患者様氏名	面会者氏名
部屋番号	TEL ()

公立山城病院
このカードは面会記録として保存するものであり、その他の用途には使用いたしません。

第10回 生活習慣病フォーラムのご案内

テーマ

「がんばろう日本
すこやかに生きるために
〜自分のからだは
自分でまもろう〜」



毎年10月に開催されている生活習慣病フォーラムは今年、記念すべき第10回をむかえます。
今回のテーマは「がんばろう日本すこやかに生きるために〜自分のからだは自分でまもろう〜」です。
今年3月に発生した東日本大震災では、多くの尊い命が失われ、今なお不自由な生活を強いられている多くの被災者の方々がおられます。災害国日本では誰でもある日突然被災者となり得ます。いざという時に備えて、「自分のからだは自分でまもる」ために今私たちにできる事は何なのか、皆様と共に考える機会になればと考えています。
たくさんの方々のご来場をお待ちしております。

日時：10月22日(土)

午前10時〜12時

場所：公立山城病院

9階 会議室

内容

- ・中笠幸治病院長記念講演
 - ・東日本大震災 災害支援活動報告
 - ・相談コーナー(医師 看護師薬剤師 管理栄養士 理学療法士 他)
 - ・測定(身長、体重、血圧、内臓脂肪、体脂肪、血管年齢、頸動脈エコー)
 - ・「みんなで踊ろう山城体操!!」
 - ・ご希望の方は血糖測定もいたします
- ※来院時は公共交通機関をご利用ください。
※動きやすい服装でご来院ください。

お問い合わせ：...

公立山城病院 事務局

電話(0774) 721-0335



「看護師再就職支援講習会」

看護師の資格のある方で、結婚・出産・育児などさまざまな理由で仕事から離れている方を対象に、現場復帰をしたいけどブランクがあり不安を抱えている方、そろそろ再就職を考えている方を支援する再就職支援講習会を開催します。

参加費無料
**職場復帰を
応援します!**
昼食付き

開催日程	平成23年11月9日(休) 10時~15時 (継続開催予定)
場所	公立山城病院9階会議室
対象	看護師有資格者
内容	採血、静脈注射の基礎知識、 医療機器の操作方法(輸液ポンプ、シリンジポンプ) 吸引 電子カルテの操作、病院内見学、その他
参加費	無料

昼食はこちらでご用意いたします。昼食をしながらいろいろお話をしませんか。

申し込み方法 公立山城病院 電話(0774-72-0235)

総務担当 古川

臨床心理士による メンタル・ヘルスケア支援開設



最近、わが国では「うつ病」が主な原因となり、年間の自殺者が3万人を超えています。特に、若年者での自殺者が多く社会問題となっております。そこで、平成23年10月1日から非常勤臨床心理士によるメンタル・ヘルスケア支援(1回/週)を始めることを当院の安全衛生管理委員会が決定しました。看護師をはじめ、当院に就職される方により良い「アメニティ」の提供と共に「メンタル・サポート」を充実させ、安心して当院に皆様就職して頂き、「地域住民の健康管理」と「自己のスキルアップ」とそれぞれの「人生における夢」を叶えましょう。

看護師 募集

神経内科及び整形外科常勤医師着任につき看護職員を募集します。

- 待遇
- 地方公務員に準ずる
 - 期末勤勉手当 年2回(6月、12月)
 - 定期昇給 年1回
 - 主な諸手当 地域手当・通勤手当・時間外手当・夜勤手当
夜間看護手当・住宅手当・扶養手当
 - 福利厚生 院内保育所完備
育児休業制度、互助会慰安旅行・忘年会等



たくさん笑顔と、わたしたちの未来がこの病院にあります。

地域の中核病院で
一緒に働きませんか

看護部もしくは事務局まで (<http://www.yamashiro-hp.jp>)

TEL0774-72-0235

お気軽にお電話ください